

そのような課題を抱えた実行委員会が開催を続け活動を推進していくには、実行委員を適切にサポートする体制が必要です。また、国と県からの補助金が減ると、これまでどおりの開催が続けられるかも不安です。子どもたちのために、たとえ補助金が減っても事業を継続し推進していける仕組みが必要です。

NPO法人放課後遊ぼう会は、遊び場づくりに必要な専門的スキルを持った市内で唯一のNPO法人です。現在、7小学校区の実行委員会と協力して放課後子ども教室を開催し、7校以外の学校に専門スタッフを派遣するなど、市の協働のパートナーとして15年間、市内全体の放課後子ども教室の質向上に貢献して参りました。しかし、人件費が年々上がる中、このままでは数年後に資金が尽きて活動できなくなります。NPO法人放課後遊ぼう会が活動できなくなれば、多くの子どもたちの遊び場が失われるだけでなく、今後、サポートが必要な校区の実行委員をサポートすることも、市内全体の放課後子ども教室の質向上への貢献もできなくなります。

つきましては、放課後子ども教室が将来も継続し活動を推進できるよう、次のとおり求めます。

請願の項目

- 1 これから宝塚市で育っていく多くの子どもたちのために、子どもの成長に必要な自由遊びのできる放課後子ども教室を、将来も維持し推進していくべき市の事業として位置付けてください。
- 2 そのために必要な方策をNPO法人放課後遊ぼう会を含む市民と共に立て、その方策を実現できるよう予算措置も含めて検討してください。